

# 最新型 64 列 CT 装置

放射線科医師 磯貝 豪



昨年 11 月末に当院に最新型 64 列 CT 装置が導入されました。

GE ヘルスケアジャパン社日野本社工場製造で 2016 年秋に販売が開始されたものです。

1 回転で 64 断面を同時に撮影できるため、従来の 1 回転で 16 断面ずつ撮影していた装置と比べて高速での撮影が可能で、息を止めていただく時間も大幅に短縮されます。



## 最新の画像処理技術を搭載

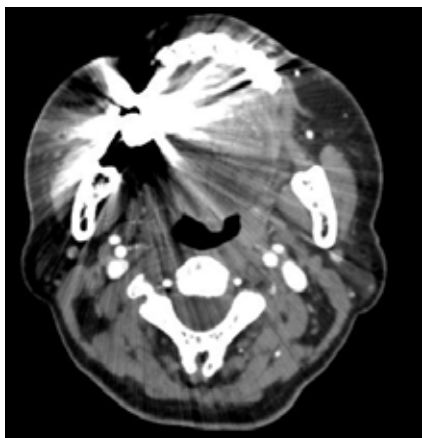
世界中で NO.1 の実績を誇る ASiR という最新の画像処理技術が搭載されており、これまでの装置よりも非常に少ない被ばく線量で同等の画像を得ることができますので、体格や検査部位により違いはありますが、約 50% 前後の被ばく低減が図られています。眼の水晶体や若年女性の乳腺といった放射線感受性の高い臓器では選択的にさらに 30 ~ 40% 被曝低減できる機能も搭載しています。従来の CT 装置でも十分安全とされる放射線量で撮影しておりましたが、さらに安心して検査をお受けいただけるものと考えております。

## より多くの情報が得られるアーチファクト処理

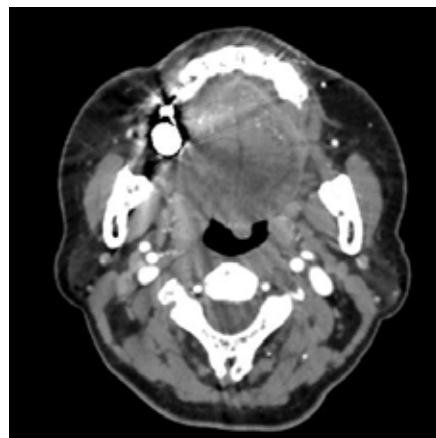
また、金属アーチファクト低減ソフトウェア (Smart MAR) も搭載されています。従来の CT では人工関節や金属歯などがあるとその周囲の組織がアーチファクトで見えづらくなってしまうという欠点がありましたが、このソフトウェアで処理することでこれを最小限に抑えることができ、より多くの情報を得ることができます。(図)

さらに循環器内科領域では心臓の冠動脈 CT が撮像できるようになりましたし、近い将来には金属歯のアーチファクトを低減できることを生かして、近隣の歯科の先生方にインプラント治療の術前評価用にもお使いいただけるようにしたいと考えています。

図 金属アーチファクト低減ソフトウェアの効果



Smart MAR なし



Smart MAR あり